



プロパティエージェント

中西聖社長

拓く

◇投資用不動産事業を展開するプロパティエージェント(新宿区)の中西聖社長は、事業展開について「客観性が鍵」と語る。同社は不動産の立地・収益・価格を軸に全60項目を数値化し、客観的な評価指標として事業に活用している。どう見ても不人気そうに思えるが、客観点数は高い。そんな物件が次々に売れてい

「客観性が鍵」

くのを目の当たりにすると「いまだに新鮮な驚きがある」という。

◇いま注視しているのは都会での暮らし方や働き方の変化。「需要動向を客観的に分析し、保有不動産などと結び付けることで、事業優位性を発揮できれば」と目を輝かせる。